

1 「社会福祉」(岐阜県)における労働災害件数の推移

	平成21年	22年	23年	24年	25年	26年
災害件数	40 (1)	69	69	87	85	71
前年比	-33.3%	+72.5%	0%	+26.1%	-2.3%	-16.5%
全産業の災害件数	1,968	2,100	2,001	1,838	2,019	1,962
全産業に占める割合	2.0%	3.3%	3.5%	4.7%	4.2%	3.6%

※ 「社会福祉」には「老人福祉・介護」以外の社会福祉関係事業所を含む。

※ 災害件数の括弧は死亡数であり、内数。

災害の型としては、「転倒」(38件、53.5%)、動作の反動・無理な動作(腰痛)(18件、25.4%)が多くなっています(平成26年)。

2 「4S活動」について

4S活動とは、ローマ字の頭文字がSである「整理・整頓・清掃・清潔」(4S)の重要性を労働者に認識させ、日々の行動に徹底させることで、職場の安全衛生水準の向上を図る啓発活動です。

職場の安全衛生対策の基本として、製造業、建設業のほか、最近では商業、サービス業においても、多くの企業で4S活動を導入しています。

3 「危険予知活動(KY活動)」について

ヒューマン・エラー(作業者の不安全行動)は、ほとんどの労働災害発生の引き金となっています。「KY活動」は、ヒューマン・エラーによる労働災害を防ぐため、業務開始前に「業務に潜んでいる危険」を確認・予測し、その対応を考えてから業務を進めるものです。KY活動についても、労働安全衛生対策の基本として産業界に幅広く導入されているほか、最近では交通安全対策としても一般に知られるようになっています。